

ウチヤマタイムズ

発行日:平成28年5月25日/編集:岡田直紀・八尋有紀・小橋佳緒里/監修:内山文治・吉岡信之
発行所:(株)ウチヤマホールディングス/〒802-0044北九州市小倉北区熊本2丁目10-10/電話:093-551-0002



UCHIYAMA
HOLDINGS
ウチヤマホールディングス
グループ

東証一部上場
(証券コード:6059)



ファミリー居酒屋
鳥くらぶ [直方店]
福岡県直方市大字下新入字東浮洲548-6
TEL.0949-25-7181
年中無休・全50席

営業時間
ランチ/11:00~14:00
ディナー/月~金 17:00~23:00
土日・祝日 16:00~23:00

新店舗は「小さなお子様からお年寄りまで楽しめる居酒屋」をコンセプトに、お昼は丼処、夜は炭火焼き鳥・唐揚げ・釜飯を中心とした老若男女に満足いただける居酒屋として装いも新たにオープンしました。炭火焼き鳥はもちろんのこと、自家製つくねを使った「つくね豆腐」や、新食感の「ふわとろ・ポテトサラダ」など、一風変わった料理も用意しています。笑顔の耐えない活気のあるお店作りをしています。皆様のご来店、スタッフ一同、心よりお待ちしております！(安野 政之)



『鳥くらぶ』が
直方市にオープン！
(株)ボナーが福岡県直方市で営業していた『あやちゃんうどん』が、平成二十八年四月十四日に『ファミリー居酒屋 鳥くらぶ』としてリニューアルオープンしました。



ボナーの新業態



「熊本地震」の支援活動報告

四月に発生した「熊本地震」において、ウチヤマグループでは様々な支援活動を展開しました。主な実施内容は以下の通りです。

- 1 被災された要介護状態の高齢者の介護施設での無償受け入れ(継続中)
- 2 「ワールド・ビジョン・ジャパン」とのタイアップによる、避難所への支援物資の搬送
- 3 JR小倉駅前での街頭募金活動

介護施設での緊急受け入れを担当している

(株)さわやか倶楽部の営業部・肥後邦彦課長よりごあいさつ



今回の対応では、「ウチヤマグループでしかできない」という思いをとても感じました。社会貢献活動として困っている高齢者の方々の為、またそのご家族の為に、企業として何か出来ないかと考えたとき、内山社長より「無償で良いのですぐに受け入れをしないか」とのお言葉を頂き、すぐに対応することが出来ました。

熊本・大分では余震が続くなか、田中エリアマネジャーはじめ多くの施設長が現地へ入り、高齢者の受け入れをして頂いています。特に印象深かったのが、各施設の職員の対応です。交通事情もあり、受け入れ当初は施設に到着するのが二〇時〜二十時という遅い時間帯で、アセスメントもない、名前と介護度程度しか情報のない被災者の方々を、どの施設でも温かく迎え入れて頂きました。到着したときにすぐに寄り添い、優しく言葉かけをしてもらい、地元を離れて遠い福岡まで来られた皆様がどれだけ安心したかわかりません。言葉かけ一つがこんなに感動を与えるものだ、改めて実感させていただきました。これも常日頃から、入居者様に対して本当に良いサービスを提供しているからこそ出来たのではないかと思います。

現地の状況は、とても言葉にできない様子でした。私自身も被災地や避難場所を見ましたが、被災地においては地面が割れ、橋が隆起し、至る所で家屋が倒壊・半壊していました。避難場所には、人が多くスペースも足りていない状況で、廊下やエントランスで段ボールなどを敷き生活されている方が多くおられました。混乱のために行政は末端まで機能しておらず、ボランティア団体の方などが中心になって支援物資の食料を配っていました。それも全員には行き届かず不満を訴えている方を多く見ました。また駐車場には、車中で過ごされている方々の車が長く停まっています。避難所内には、車いすでの介護が必要な高齢者の方もおられ、すぐにでも安全で安心できる場所に移って頂きたいと思い、避難場所の行政の担当者や掲示板などへ当社の支援内容を告知させて頂きました。本当に皆様苦しい思いをしながら、行き場もない中で仕方なく生活を続けているのを強く感じ、普通の生活が送れることにも感謝しなければならぬと思いました。

五月二十日現在で三十七名の方が緊急避難で施設を利用して頂いています。熊本市東区の一部・益城町・西原村・南阿蘇村等は、家屋が倒壊や破損して、ご自宅に戻りたくても戻れない多くの方々が、地域の避難所などで苦しい生活を今も続けています。私たちにできることはまだないか知恵を絞り、困っている被災者・高齢者の方々に支援を続けていきます。



熊本地震

体験レポート

(株)ボナー 熊本エリア担当
本田 健^{けん}
スーパーバイザー

平成二十八年四月十四日二十一時二十六分に一回目の地震がありました。三十四年間熊本に住んでいます。初めての体験で、とにかく恐怖の一言でした。当時は熊本再生酒場で勤務しており、とにかく落ち着いてスタッフ、お客様を店の外に出すように指示を出しました。そしてカラオケ各店の仲間と、家族の安否の確認をしました。

一日明けて、翌日は店の片づけを行い、もう地震は来ないと思っていた矢先、十六日の一時二十五分に二回目の地震が来ました。二回目の地震はとにかく縦揺れが大きくて時間も長く、熊本全域が停電となり、前も右も分からない状況でした。私はちよつど家の近くにて、とにかく家に急いで帰り、妻と子供たちを外に出すのが精一杯でした。その日は車中で泊まりました。夜が明けてニュースを見ると、ライフラインがストップされていることがわかりました。

店の状況と家のこと、スタッフのこと、すべての確認をして、幸いスタッフにけがなどはありませんでしたが、中には自宅が半壊した



↑写真中央が本田スーパーバイザー

者もいました。熊本市内の避難所にいた私の弟からは、とにかく水と食料が足りなくて困っているという話を聞きました。まだ救援物資が届く前で、子供も高齢者もお腹を空かせているとのことでした。私たちが何かできることがないかと考え、歌野社長に許可を頂いて店の食料でおにぎりや唐揚げを作り、スタッフと協力して避難所へ届けました。

二回目の地震以降、熊本県内では四店舗が営業を休止していましたが、開店を待ち望むお客様の声も多く聞かれました。スタッフ皆の協力を得て、四月二十日にコロツケ倶楽部松橋店、八代店の営業を再開しました。被災された方々を元気づけたいとの思いで、営業再開から五日間は、六十五歳以上の高齢者と小学生以下のお子様は無料にしました。お客様からは、地震が続くストレスも大きくなる中で、歌える場所があるだけでも気が楽になり、助かったというお声を頂きました。熊本市内でも水道の復旧に合わせて、二十五日には熊本再生酒場、二十六日にはコロツケ倶楽部下通店の営業を再開しました。まだガスは通じていない状況でしたが、限られたメニューで対応させて頂きました。これも全スタッフの協力があつたからこそできたことです。

あれから一ヶ月が経とうとしています。今回の地震で一番学べたことは、人と人とのつながりの大切さでした。周りの方々からの励ましの言葉、社員・スタッフの協力のおかげで、前を向いて頑張ることができました。今後の人生においても困っている人がいれば助け、進んで協力しようという気持ちが高まりました。まだ余震は続いています。全員で助け合つて乗り越えていきます。



光り輝くスタッフをご紹介します！

キラリ★一等星

twinkle!
twinkle!

町口 悠矢さん 33歳

さわやか野方館 デイサービスセンター／機能訓練指導員兼管理者代理

理学療法士として病院で8年間、多くの患者様のリハビリを行ってきました。自宅復帰をされる方が大半でしたが、中には病院から施設に行かれる患者様がられました。そういう方々はどのようなリハビリをされ、どのように過されるのか、とても興味が沸きました。

色々な施設を見学させて頂き、さわやか倶楽部の雰囲気や笑顔、入居者様の活気が他の施設に比べてとてもよく、特に職員のあいさつがとても気持ちよかったので、この場所で今まで学んできた知識・技術を広めたいと思い入社しました。

リハビリをした利用者様が「痛いのがよくなった」など嬉しそうに話して下さったり、寝たきりだった利用者様が車椅子移動になり、さらに歩行が可能になって「ありがとう」と涙ぐんで言うとき、この仕事を選んでよかったと感じます。

以前、今まで歩行が可能だった利用者様が肺炎で入院されました。1ヶ月後に病院へカンファレンスに行くと、身体機能がとても低下され寝たきり状態になっていました。話を聞くと、リハビリの拒否と状態が悪いのが原因で、リハビリができなかったとのこと、野方館に戻ってもリハビリに対しての意欲はとても低く、「どうせしてもよくなりません」とおっしゃっていました。このままでは本当に寝たきりになると思い、モチベーションを上げながら寝返り・起き上がり順序を踏まえてリハビ

リをしました。すると、徐々に状態が良くなっているのが利用者様に伝わり、意欲が向上してきました。今では自立が可能となり、歩行も以前と変わらないくらいになりました。利用者様が泣いて「ありがとう」とおっしゃって下さり、とても嬉しい限りでした。私はいつも「利用者様が頑張ってきたから今があるんですよ。私は助言して、少し手を貸しただけですよ」と言っています。一連の流れで初めから最後までリハビリができたという感動と、ここまで感謝されたことが、一番嬉しかったです。

プライベートでは、フットサルで体力づくりや健康管理に努めています。いろんな職種・年代が集まり、言いたい放題話してストレス発散にもなっているのかなと思います。

今後はさわやか倶楽部の全施設で「脱・車椅子」に取り組み、食事の際は必ず椅子に移乗して食事して頂くようにしたいと思っています。現場で分からないことがあれば各施設に出向き、ポジショニングの仕方や移乗の仕方をその場で見て理解して頂くようなことを実施していきたいと思っています。

業の知識や状態把握など、まだ知識が浅い部分もあり、私自身まだまだ日々勉強が必要だと思っています。この業界では本当に現場の介護職の対応が一番大切だと思います。そのためにも自分が持っている知識をしっかりと伝え、介護職員の方々が輝ける職場作りをしていきたいと思っています。

ウチヤマグループで働く皆さんの日報をご紹介します。

BEST

日報賞



石井 絵里香さん

コロッケ倶楽部 久留米合川店
福岡県久留米市

業務開始後すぐにフロアの雑巾がけ、BOXチェックを行いました。春休み料金ということで、受付時には料金説明を確実に行いました。

先日、常連のお客様が来店された時に「やっと子供が中学を卒業して、受験も終わってホッとした」というお話をしてくださったので、私も「ぜひ次回の来店時はお子様とのご来店をお待ちしていますね」と言ったところ、本日はご家族で来店して頂き、とても嬉しく思いました。お客様と楽しく打ち解けることのできる接客を普段から心がけています。



いしや
石谷 哲也 施設長

さわやか野方館
福岡県福岡市

本日は、ご入居者様2名の介護認定の調査がありました。お二人とも身体の状態が悪化したことを受けての、区分変更の申請に伴う調査でした。どちらも「つくしんぼ」のケアプランセンターの山田ケアマネジャーが担当されている方で、病院から退院された時は精神的な落ち込みがひどかったのですが、現在はとても落ち着き、笑顔も見られるようになってきました。山田ケアマネジャーは「こんなに回復するなんて!」と、とても喜んでおられ、中島主任や職員の間にも感動されていました。介護のすばらしさを感じた瞬間でした。

産んでくれて、 育ててくれて、ありがとう。

両親へ、感謝の
気持ちを込めて…



たく
末松 拓さん

さわやか行橋式番館
福岡県行橋市

私は、平成元年4月18日に山口県宇部市にて、末松家の長男として誕生しました。私が幼少のころ、父の実家がある福岡県北九州市に引越し、幼い頃から北九州で過ごしました。

つい最近「家族」ということを改めて考える機会がありました。幼馴染の友人が昨年結婚し、今年の4月に第一子を授かりました。幼馴染の顔が父親の顔になっていました。とても幸せそうな家族を前に、私も今まで両親、祖父母に多くの愛情を注いでもらっていたことを実感しました。

家族の支えもあり、今の私は仕事に打ち込む事ができています。さわやか行橋式番館で勤務させて頂き、3年が経過しました。仕事を通して、日々多くのことを学ばせて頂いています。介護における知識はもちろん、人として何が大切なことなのかということも含め、毎日が勉強です。今こうして多くの仲間と共に仕事ができ、沢山の友人に良くしてもらっているのも、両親がいつも、相手の立場に立って考えることの大切さを教えてくれたお陰です。

普段は、気恥ずかしくてなかなか言えませんが、この場をお借りして両親へ伝えます。お父さん・お母さん、産んでくれて、育ててくれて、本当にありがとう。

おたよりのご紹介

さわやか立花館 スタッフの皆様へ

ゴールデンウィークも終わり、若葉が目にしみる季節、さわやか立花館スタッフの皆様におかれましては、毎日ご活躍の事とお察し申し上げます。

この度は、母が大変お世話になりました。災害の少なかった熊本で、このような地震が起きるとは、正直な所、夢にも思いませんでした。

地震直後、体の不自由な母を抱えて途方に暮れていた所、紹介して頂いた貴施設でありましたが、快く引き受けて頂き、本当に有り難かったです。

福岡という事で、母共々不安もありましたが、スタッフの皆様の心あたたまる介護にすぐに安心に変わりました。

母が施設からいつも、スタッフの皆様によくして頂いた事、ご飯が美味しい事、お風呂に沢山入れる事、レクリエーションの話などを電話で話してくれていました。

自宅に戻り、最初は以前の動作に少し困難が見られ心配しましたが、今日ぐらいから、1人で出来る様になったとの事です。

これも、入所期間にスタッフの皆様にご配慮頂いていたお陰だと思います。家族一同感謝の思いでいっぱいです。

最後になりましたが、スタッフの皆様のご健康と、ご活躍と、貴施設の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。大変お世話になりました。

熊本地震の被災により一時避難のため受け入れを行った
姫野美江子様のご長女・西和美様(熊本県上益城郡益城町)より



藤見学



午後から香月の「吉祥寺」へ外出レクに行ってきました。出店がたくさん並んでいました。「きんぎょすくい懐かしいからやってみたいね」などなどご利用者様からの声も出ておりました。

そして帰りには近隣の藤が有名な神社へ行ってきました。満開の藤の花がとても綺麗でしたね。

(西村 美沙)



習字教室



習字教室の様子をご紹介します。熊本地震で被災され、立花館に入居されている方も、3名参加して下さいました。

小川様が、習字の作品の名前の所に絵を描かれていたのでお聞きすると…お仕事のかたわらで、お地蔵さんの絵を描いて言葉を書かれていたそうです。とても、温かみのある絵だったので書いて頂いて作品コーナーに展示させて頂いています。

熊本の1日も早い復興を祈願致します！習字は、精神統一修行に抜群です！作品は、2階エレベーター横に展示していますのでご覧下さいませ。(野村 美由紀)



みんなのお便り集まれ～！

さわやか だより



熱い時間を 過ごしました！

元K-1選手の小比類巻貴之様と前田義人選手が久しぶりに来所されました。今回で3度目の来所です。

「痩せた？」来週は試合があるという事で鍛えた身体に入居者様も気付かれていたようです。勝利を祈っています。



早速入居者様と一緒にパンチの練習です。義人選手の丁寧な指導のもと「123」。声も大きく出ています。

明日からの体操で活用したいと思います。もちろん、ミット打ちの体験も行ないました。また来てくださいね。入居者様の元気が一段とアップしたようです。(園田 忍)

さわやか
むなかたのもり
福岡県宗像市

こいのぼり



今日は元気な女性メンバーとこいのぼり見学レクです。宗像市内池野地区の公民館にこいのぼり出現の情報があり早速、お出かけです。想像以上にたくさんのこいのぼりが泳いでいました。皆さん元気にVサイン。そして、可愛らしくにっこりポーズ。元気に泳ぐこいのぼりに元気を頂きました。今日も笑顔にっこのさわやかむなかたのもり小規模多機能でした。(中村 みすず)



グループホーム
あおいすみ
福岡県行橋市

神幸祭



昨年同様に宮市区の皆様が踊りを披露して下さいました。入居者様の皆様も見物されました。和やかな雰囲気の中、子ども会の皆様の『ソーラン節』も披露されました。父兄の皆様の熱心な写真撮影が印象的です。



子ども会の皆様と一緒に記念撮影です。楽しいひと時です。宮市区の皆様にご心から感謝です。(内橋 泰子)



さわやか
かさでらかん
笠寺館
愛知県名古屋市長

避難訓練



さて、今日は毎月1回行っているさわやかな避難訓練の日です。今日は1階駐車場にて行いました。多くのご家族様が朝から面会に来ていましたが、ご協力頂きましてありがとうございます。



始まりの合図は佐合事務のアナウンスです。出火は2階です。皆様、順番に避難します。避難する時は気持ちが焦りますが、落ち着いて行動しました。歩ける方は職員と一緒に非常階段を使って1階へ到着です。

最後に防災副委員長の西川機能訓練指導員から防災委員長長の滝澤介護職員へ報告し終了です。避難訓練が本番にならないように毎日祈るだけです。(榎原 孝之)



さわやか
さくらにばんかん
桜式番館
秋田県秋田市

『つつじまつり』に行ってきました



太平にある『つつじ園』に行ってきました。もこもこっとなかなか異空間な感じでした。

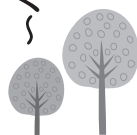
男性陣が一番上まで登って来ました。結構急な坂道で良い運動になりました。女性陣は下から、つつじを見ていました。お休みどころではおにぎりとお茶、玉こんにゃくの無料提供がありとても良かったです。(三浦 由美子)

Message from PRESIDENT

ウチヤマグループ代表 内山 文治

求む！幹部候補生

やる気とアイデアが組織の成長を導く



企業が成長していくためには、若手社員の育成・抜擢が大変重要だと思います。昨年の十月に事業譲渡を受けた大分県大分市の介護付有料老人ホーム「さわやかさかのいち館」は、当社が運営を引き継いだ当時は定員四十八名に対して十七名しか入居しておらず、赤字の経営が続いており、地域での評判もあまり良くありませんでした。人気回復の為に、地域への周知や、運営内容の改善を進めている最中で、今年の四月からは、施設を活性化する為に若手の中矢秀君が徳田施設長のサポートで常駐しています。中矢君は、平成二十六年四月に新卒として入社した時から大きな将来性を感じる人材で、入社から一年足らずで「さわやか海響館」の施設長に抜擢されました。新卒社員が一年も経たずに施設長になることは当社でも異例のことで、社内では、経験不足を理由に反対する意見が多くありました。しかし、当時の「さわやか海響館」は空室が増え、立て直しを急ぐ状況だったということもあり、私は彼の将来性に対する自分の直感を信じて、強く推薦し続けました。中矢君は施設長就任後、期待を上回る頑張りをを見せてくれました。初めての管理者業務を勉強しながら、毎日早起きをして、施設の近隣で行われる早朝のラジオ体操や地域の清掃活動等にも積極的に参加して、地元の方々と交流を深めていきました。その甲斐があつて、「さわやか海響館」は、中矢君が着任後三ヶ月で満床達成という結果につながりました。その実績が認められ、昨年十月から今年の四月までは、新潟県新潟市の「さわやか日の出館」と「さわやかリバーサイド栗の木」の立て直しのために統括施設長を務めました。中矢君が九州へ戻つて数日後、「さわやかリバーサイド栗の木」入居者様のご家族様からお手紙を頂きましたので、ここに紹介させて頂きます。

拝啓

桜吹雪の後から新緑が芽吹き春爛漫です。この度は御挨拶おめでとうございます。六ヶ月という短期間で、たくさんのお話を聞いて頂き、本当に有難うございました。お世話になりました。中矢さんがいらしてからスタッフの意識も雰囲気も変わつたと感じておりました。私の義父母をはじめ、入居者の皆様にとって何より有難いことです。まさに「中矢マジック」です。時折お話しさせて頂いて、中矢さんのいろいろな熱い、厚い思いが伝わってきました。

熊本県を震源としたこの度の地震は九州全体に及び、皆様の御苦労ははかりしれません。こんな時だからこそ、中矢さんのような方が必要とさ

れているのだと思います。御活躍を期待しております。

どうかどうか、お身体を大切になさってください。そしてまたいつか新潟にいらしてください。

敬具

平成二十八年四月一八日

足立 泰儀・明美

足立泰儀様、明美様、中矢君への温かいお言葉をありがとうございます。大変感激致しました。

行く先々で結果を残し、一回り成長していく彼には、今後大きな可能性を感じているところです。弊社には日報制度があり、職員一人一人の業務内容や報告・提案事項等を毎日確認することができ、ですが、現在「さわやかさかのいち館」で奮闘中の中矢君の日報には、毎日のように新しい発案をし、すぐに実行に移していることが書かれてあり、読むのが楽しくなっています。次に数点紹介します。

・自転車の多い地域性を考え、「自転車の空気入れ」の貸し出しを始める。施設に大きく掲示して、地域の方が施設に足を運んでくれる機会を作る。地域貢献の一環であり、地域の方々とつながりをさらに広げたいことが狙い。

・施設のことを知ってもらう為に、親族の入居を検討している方や、近隣の方、居宅支援事業所のケアマネジャーなどを施設へ招いての「お泊り会」を提案。

・ヤクルトや牛乳配達の仕事所と提携して入居を希望される方の紹介制度を発案し、計画中。

彼は、仕事に対する使命感を持っているだけでなく、仕事を楽しんでいるからこそ、このように常に新しいアイデアが生まれてくるのだと思います。今月の推薦図書で「USJ」のジェットコースターはなぜ後ろ向きに走ったのか？」を紹介しています。この本には、入場者数の減少が続いていたユニバーサル・スタジオ・ジャパンを、森岡執行役員が中心となつて様々な創意工夫で立て直してきた軌跡が書かれています。お金がない、人も足りない、時間も無い、でも結果を出さなければならぬ、という使命を背負い、森岡氏はパークの中を歩き回りながらアイデアを捻り出したそうです。著書のタイトルになっている後ろ向きに走るジェットコースターも、お金をかけずに、既存の施設を活用して入場者を呼び込むために生み出されたアイデアなのです。

今後は、若手社員の抜擢を今以上に積極的に行っていきたいと思っています。経験は問いません。やる気こそが自己成長の第一のエネルギーです。どうしてもしたら、お客様に喜んで頂けるかを考え抜いていきましょう。我こそはと思う方は、是非候補して下さい。

今月のオススメ 図書

推薦本



- 1 日本の活力を取り戻す発想(渡部 昇一)
- 2 上に立つ者の「人間学」(船井 幸雄)
- 3 なぜ稲盛和夫の経営哲学は、人を動かすのか?(岩崎 一郎)
- 4 USJのジェットコースターはなぜ後ろ向きに走ったのか?(森岡 毅)
- 5 日本人はもう55歳まで生きられない(石原 結實)
- 6 セーラー服の歌人 鳥居 拾った新聞紙で字を覚えたホームレス少女の物語(岩岡 千景)
- 7 人間は死んでもまた生き続ける(大谷 暢順)
- 8 世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ(くさばよしみ 編/中川 学 絵)
- 9 ブレーメンのおんがくたい(ポプラ社 出版)
- 10 どうすればいいのかな?(わたなべ しげお 文/おおとも やすお 絵)

熊本地震、

その後の対応より



四月に発生した熊本地震における当社の対応について、先月のこのコーナーでも紹介させていただきましたが、その後も引き続き支援をさせて頂いています。さわやか倶楽部の介護施設では、被災された高齢者の方々の無償受け入れを行っています。このことはテレビやラジオでも取り上げていただき、自治体等を通じて問合せも多く頂きました。福岡県、大分県の施設において、五月二十日まで三十七名の方々の受け入れ、ご本人様やご家族様からは、たいへん安心したと喜んで頂いています。

主な受け入れ先となった福岡市の「さわやか立花館」では、山口一也副施設長の提案によって、被災地から受け入れた方々の不安を少しでも取り除くため、五月五日に「お茶会」を催しました。熊本各地から避難されて来られた高齢者の方々十二名が参加され、自己紹介をしていただくと、同じ地域や同業の方とのつながりが分かり、次第に話が盛り上がったということです。中には、地震が起きた当時の状況を涙ながらに話される方もいましたが、同じような境遇の方々と思いを共有することで、精神的な不安も緩和されたのではないかと思います。そして最後は、熊本民謡の「おもてやん」を皆さんで元気に合唱されたそうです。山口副施設長の素晴らしい発想と演出は、まさに当社の基本理念である「慈愛の心」を体現したものでないでしょうか。現在もまだ入居されている被災者の方々が、私達の施設で早く生活に慣れていただき、心の安定を取り戻されることを心より願っています。

今回の熊本地震の対応について、いち早く当社が支援を発表することができたのは、さわやか倶楽部、営業部の肥後邦彦課長の尽力によるものです。

四月十四日の夜に熊本で一回目の大きな地震が発生した直後から、ウチヤマグループでも何か出来ることを検討しなければと考えて、情報を収集していました。その翌日の四月十五日、私が支援の方法やタイミングなどをまだ決めかねている段階で、肥後課長の方から「社長、熊本の地震で多くの方が困っているはずですよ。今までの震災と同じように、今すぐ当社で被災者の方の施設での無償受け入れを発表しましょう！」と提案してくれました。そこで私も決心することができ、その日のうちにマスコミ等を通じて被災者の無償受け入れを発表しました。そして、肥後課長をその対応の責任者に命じました。

その直後、四月十六日の午前一時二十五分に二回目の大きな地震が発生し、被害はさらに大きく広がっていました。肥後課長は熊本に

何度も出向いては、被災している自治体の方々に向けて当社が施設で無償受け入れを行っていることを伝え、実際に受け入れを希望されている方がいれば、各施設の担当者や連絡を取り合っており、ご家族様への説明やお迎えの手配を行いました。

また、NPO法人「ワールド・ビジョン・ジャパン」との提携による避難所への支援物資の調達や輸送においても、秘書の小橋さんと一緒に当社の窓口として対応してくれました。相手先の担当者から避難所の状況を聞き取りながら、日々変化を必要とする物資の要請に伴って取引先の方々にも協力を依頼し、避難所へ迅速に食料や日用品などを届けることができました。さらには、マスコミからの問合せや取材依頼も一手に引き受けるなど、まさに八面六臂（はちめんろくび）の活躍で、被災地支援の活動に取り組んでくれました。

今回の地震対策において、改めて素晴らしい仲間達に囲まれて仕事ができていることを誇りに思い、また感謝する機会を頂きました。私たち一人ひとりにできることは小さいことかもしれませんが、賛同してくれる方々に協力を求めて仲間の輪を広げていくことで、大きな支援の力になると信じています。

思えば当社の地震被災地への支援は、今から十一年前に起きた福岡西方沖地震の時から始まっています。当時はまだどんなことができるか、すべてが手探り状態の中、行政機関とも色々と打ち合わせながら様々な形で支援を行った経験が、その後の東日本大震災や今回の熊本地震での支援に活かされています。始めの一步を踏み出すことの大切さを改めて今、感じています。

福岡県にある「コロッケ倶楽部トリアス山店」で働いているアルバイトの内田誠子さんは、日報にこのように綴っています。

先日、熊本で地震があり、大きな被害を受けているニュースを見て心が痛みました。昔、福岡でおきた西方沖地震を思い出しました。その時は「ハカタパティオ」というお店で働かせていただいていた。何か出来ないかという思いで被災した方々を無料で招待し、カラオケや食事をしていただいた事が頭をよぎりました。自然災害はこわいもので、どうすることも出来ませんが、熊本という少し離れた所でも、今私に出来ることがないかを考え、少しでも出来ることがあれば、行動に移したいと思っています。

十一年前の福岡西方沖地震では、多くの方が災害に見舞われ、本社や店舗、施設の職員と一緒に支援の方法を考えながら、出来ることに少しずつ取り組み、人に喜ばれることの嬉しさを実感しました。今回の熊本の地震でも多くの仲間が積極的に動いてくれ、具体的な支援の形に繋がっています。これから人を思いやる気持ちを大切にして、社会に必要とされる企業作りを目指すと同時に、一日も早い被災地の復興を願っています。



↑さわやか立花館の「お茶会」に参加された被災者の方々



別府の里プラン



別府の里贅沢プラン



明馨幸せプラン

明馨温泉
さわやかハートピア明馨
大分県別府市大字鶴見1190-1
Tel.0977-66-1321

別府温泉
さわやか別府の里
大分県別府市堀田4-2(堀田温泉)
Tel.0977-26-1117

別府のホテルのご案内 さわやかな宿

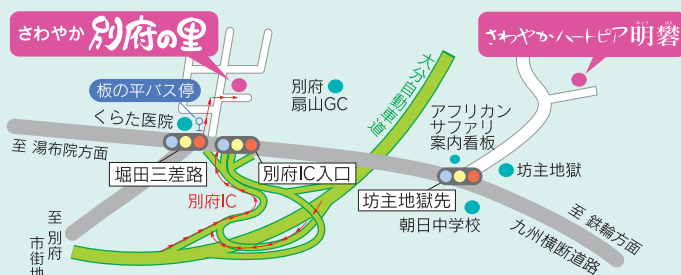
先般の熊本・大分の地震で被災された方々には心からお見舞い申し上げますと共に、復興に尽力されている皆様には安全に留意されることをお祈りいたします。この地震以後、多くのお客様、協力企業の皆様、ウチヤマグループの皆様より温かいお言葉やご支援をいただいたこと、従業員一同心より感謝申し上げます。

さわやかな宿「さわやか別府の里」(別府市堀田温泉)「さわやかハートピア明馨」(別府市明馨温泉)両ホテルとも4月14日、16日の地震を経験しましたが、ありがたいことに被害はほとんどなく、けが人もありません。温泉も変わりなく出てくれました。おかげで、これまで1日も休まず営業することができています。

周りの観光地も4月16日から数日間は休んでいましたが、現在は営業を再開し楽しんでいただけます。また、東九州自動車道も4月24日に椎田南～豊前間が開通し、北九州市から別府まで1時間20分で到着できるようになりました。温泉に入りたくなったらどうぞ別府へお越しください!

6月からは夏のメニューを準備して皆様をお迎えさせていただきます。これからも全従業員で元気に良いホテルを創ってまいります。別府温泉「さわやか別府の里」「さわやかハートピア明馨」をよろしくお願いいたします。

さわやかハートピア明馨／支配人・川田 務



福利厚生制度について

ウチヤマグループでは、さわやか別府の里、ハートピア明馨を社員が利用する場合、会社の補助が受けられます。通常1泊2食で一人様9800円のプランが、社員価格で7800円(休前日はプラス1000円)にて利用できます。さらに、各事業所にて後日申請を行えば1人4000円の補助があり、実質3800円～で利用できます。詳しくは本社・総務部まで問い合わせてください。※補助の対象は社員本人および2親等以内の親族です。



速報! 第24回 特別講演会

平成28年5月21日(土)、リーガロイヤルホテル小倉にて第24回目となるウチヤマグループ主催の特別講演会が行われました。詳しくは次号・7月号にてお知らせします!

【日 時】
平成28年5月21日(土)13:30～
【講 師】
上智大学名誉教授 渡部 昇一 氏
【テーマ】
戦後70年を過ぎて、これからの日本
【会 場】
リーガロイヤルホテル小倉

さわやか 相談室

一人で悩まないで!
あなたのお悩み
話してみませんか?



お気軽にどんなことでもご相談下さい。お電話、メールお待ちしております!

電話番号 090-9497-5764
メール sawayakasoudan@softbank.ne.jp